

# イベントを通じた地域への憩いの場の提供と障害福祉の理解促進

障害福祉施設が地域に歓迎される構成員になれるよう、参加者誰も憩いの場になり地域の方も一緒に運営してもらえらる場の提供を心がけ、お祭り等の各種イベントを実施している。さらに、日頃から喫茶や買い物を楽しめるように施設内の環境整備にも努め、地域交流スペースとして開放している。

神奈川県

社会福祉法人

光友会

〒252-8586 神奈川県藤沢市瀬郷1008-1

TEL: 0466-48-1500 FAX: 0466-48-5113

## ○法人設立年/昭和55年

## ○法人実施事業

- ①経営施設数合計：16施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：  
重度障害者支援施設…1、障害者ケアセンター…1、  
障害者相談センター…1、障害者福祉ホーム…1、  
グループホーム・ケアホーム…2、障害者就労支援  
施設…5、知的障害者通所更生施設…1、知的障害  
児通園施設…1、障害者スポーツ施設…1、在宅障  
害児者支援施設…1、地域交流ホーム…1

## ○法人の理念・経営方針

・理念：障害のある人が一般市民と同様にあたりまえの生活が営めるように支援する。

・経営方針：

- ①福祉施設にありがちな「隔離と管理」から脱皮するため職員、利用者、地域住民の意識改革に努めるとともに地域福祉の核機能を果たす。
- ②障害者への差別と偏見を除去し、障害者の学習権・労働権・生活権を保障する。
- ③「平和は福祉の基礎」「福祉は平和のシンボル」であることを身近なところから裏付けし、これを支える福祉運動を推し進めてゆく。
- ④障害のある人の幼少青壮老（いわゆるゆりかごから墓場まで）の福祉ランドとしての支援を目指していく。

## ○取り組みの法人での位置づけ等

地域福祉の核機能及び障害福祉拠点施設機能を果たしていくための地域貢献事業の位置づけをしている。

## ○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

いそご地域活動ホームいぶき

【施設種別及び利用定員】

在宅障害児者多機能支援施設（相談、日中活動、

ショート・一時ケア等8サービス・事業）

定員：63（日中活動50、ショート4・一時ケア9）

## ○活動内容

◇活動開始年：

①いぶきまつり：平成17年10月

②いぶき感謝祭：平成18年5月

③チャリティーコンサート：平成18年7月

◇活動の対象者：

・施設利用者、地域の障害児者、一般市民

◇活動の頻度・時間：

①いぶきまつり：年1回10月の第4土曜日  
10：30～15：30の5時間程度開催

②いぶき感謝祭：年1回5月中の土曜日11：00～15：00の4時間程度開催

③チャリティーコンサート：年1回7月～9月の間の土曜日14：00～16：00の2時間程度開催

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

地域活動ホームは、横浜市が障害福祉拠点施設として各区（18区）に1か所設置を進めている施設で、「地域とともに歩むこと」が方針とされている。当法人は昭和55年以来藤沢市に本部を置き施設を運営してきたが、「いぶき」が、横浜市内での初めての施設運営となった。それだけに、地域にできるだけ早く根づくことに、特に留意することにした。

地域と連携した法人運営の基本的な考え方のもとで、藤沢市内で「地域へのイベントの提供」を行ってきている。そこで、本部でのイベント開催のノウハウを活かし、横浜市磯子区の地域においても、積極的にイベントを開催し、地域へ憩いの場を提供しながら、地域へ根づくことを目指すことにした。

## 実施内容

### ①いぶきまつり

施設利用者の方、地域の障害のある方、一般市民の方が一緒に楽しんでいただく場としている。地域のバンドや区内高校の部活バンド、近隣小学校の鼓笛隊等の公演、区内障害福祉施設・小規模授産施設、町内会、地元商店街による縁日風出店やお餅つきなどを主な内容としている。磯子区や社会福祉協議会、町内会、マスコミの後援もいただき、例年800人から1,000人規模のものになっている。

### ②いぶき感謝祭

施設の利用者の方を始め日頃お世話になっている方々への感謝として、落語、コンサートなど、いぶきまつりより小規模だが、区内障害福祉施設・小規模授産施設・団体、地元商店街による飲食・自主製品など各種出店を内容として開催している。例年600人前後の参加がある。

### ③チャリティーイベント

地域の皆様にチャリティーにご協力いただくとともに憩いと感動をお届けすることを狙いとして、毎年プロの方の出演による楽器や歌のコンサート、和太鼓演奏などを内容として開催している。例年、磯子区から後援をしていただき、区公

会堂を会場に行い500人前後の来場者を得ている。

て活用し、障害福祉拠点施設の役割を一層果たせるようにしていきたい。

### 活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

#### ①いぶきまつり②いぶき感謝祭：

障害のある人、一般市民の方が、祭に参加する中で、自然な形で障害への理解が深まっている。施設を会場に一般市民に楽しみを提供することにより、当初あった近隣の方の施設への抵抗感の払拭にも役立っている。今では、丹精込めて育て上げた花菖蒲やベンジャミン等をその季節に飾ってくれるなど、良き協力者・支援者になっていただいている。

祭には、区内の福祉施設・団体、高校の音楽部・ボランティア、近隣の町内会・団体、小学校、地元商店街・バンドにも、出演・出店してもらうことにより、障害施設への好感がもたれるようになるとともに、地域のノーマライゼーションの醸成に役立っている。

#### ③チャリティーイベント：

これまでのプロによる質の高いフルート&ピアノコンサート、カンツォーネコンサート、和太鼓演奏により、利用者・地域の方に憩いと感動をお届けでき喜ばれている。それとともに、良質な芸術・文化が楽しめる機会を提供していることで、区役所を始め区内の諸機関から高い評価をいただき、施設への信頼を高めている。

### 主な経費や財源及び人員等

(年間あたり)

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
いぶきまつり開催費	約550,000円	区自主事業補助金、後援会売上金	約550,000円
いぶき感謝祭開催費	約250,000円	区地域交流補助金、後援会援助金	約250,000円
チャリティーコンサート開催費	約400,000円	後援会援助金	約400,000円
<合計>	約1,200,000円	<合計>	約1,200,000円

\*金額は20年度のおおむねの実績額  
・取り組みに係わった職員数〔常勤、非常勤含め全員の35〕名  
(職種等：介護指導職、看護師、相談員、事務職)



### 今後の課題及び展開

地域のマスコミに、今までの実績をアピールしながら、祭・コンサートの開催を、魅力あるイベントとして紹介していただけるようにし、より多くの方の参加・来場が得られるようにするとともに、利用者・地域の皆様の楽しみ憩える恒例の催しとして定着するよう目指していきたい。

祭開催にあたっては、地域振興の視点も打ち出し、地元商店街参加や地域文化芸術等の活動の発表の場として、競って参加・出演してもらえようようにし、地域活性化に貢献できるようにしていきたい。特に、現在協力いただいている「地元商店街の後援会会員割引協力店」を進展させ、双方のメリット拡大に繋げていきたい。

イベントを、区内の障害福祉施設製品の有力な販売の場としての定着や、障害福祉発信の場とし

